

平成28年度第1回さぬき市地域包括支援センター運営協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成28年8月1日（月） 14:00～16:00
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 十河章・為国真理・松原佳代子・米田裕二・名出美紀・山下博史・福光優・梶河昭・間島是武・江口キミコ・谷幸夫・南智香・真鍋映子・藤井可郭・六車正徳・壺井邦子・柳瀬治夫・真鍋芳樹・山本孝広・増田尚吾・多田将人
[事務局] 東直行・川田涼子・國方秀樹・笹田美由紀・山下昌美白井博子・高橋真理恵・古市真理・鶴川歩
- 4 議 題 (1) 平成27年度の運営報告について
(2) 平成27年度の業務評価について
(3) 平成28年度の運営計画について
(4) その他

5 会議の内容は次のとおりである。

| 発言者 | 意見概要 |
|-------|--|
| (事務局) | <p>ただいまから、平成28年度第1回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を開会します。</p> <p>本日の会議は、介護保険法の規定に基づいてさぬき市が設置した地域包括支援センターの運営について、委員みなさまの意見を踏まえて、公正性、中立性を確保することを目的に、年2回開催しているものです。</p> <p>まず、開会にあたりまして、会長より御挨拶をお願いします。</p> |
| (会長) | (会長挨拶) |
| (事務局) | <p>さぬき市地域包括支援センター運営協議会設置要綱の規定により、過半数の委員の出席をもって会議を開くことになっておりますので、会議が成立していることを御報告いたします。</p> <p>会長が会議の議長となることになっておりますので、以降の議事進行は、会長をお願いします。</p> |
| (議長) | <p>次第に基づきまして議事を進めます。</p> <p>まず、「平成27年度運営報告」及び「平成27年度業務評価」について、資料の2ページから46ページまで、事務局から説明をしてもらって、質問や意見をいただき、次に「平成28年度運営計画」について同様に、事務局からの説明後、質問や意見をいただく方法で進めたいと思います。</p> <p>そういう進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>それでは、そのように進めてまいります。</p> <p>まず、「平成27年度運営報告」及び「平成27年度業務評価」について、事務局の説明を求めます。</p> <p>(事務局説明 議題(1)平成27年度運営報告について 議題(2)平成27年度業務評価について)</p> <p>ただいまの説明について、まず、資料2ページから21ページにつきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>ではつづきまして、資料23ページから40ページにつきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p> |
| (委員) | <p>31ページの地域ケア会議についてですが、これは定期的な会議を行わないと効果がないように思いますが、現状について教えてください。</p> |
| (事務局) | <p>地域ケア個別会議については、ケースごとに担当者が集まって行ってい</p> |

| | |
|-------|--|
| | <p>ます。全体会として、地域ケア会議としてはまだ行っていませんが、ネットワークについては少しずつ繋がりを持っていく努力をしています。</p> |
| (委員) | <p>40ページの平成27年度地域支援事業の歳出決算額のうち、任意事業の中の家族介護支援事業571万円の内訳を教えてください。</p> |
| (事務局) | <p>家族介護支援事業には3つの事業があり、その内訳は、介護教室の開催に41万4千円、家族介護者交流事業に129万8千円、介護用品支給事業に399万8千円となっています。</p> |
| (議長) | <p>他に質問、御意見はありませんか。 (他に質問等なし)</p> |
| | <p>ではつづきまして、資料41ページから46ページの平成27年度業務評価につきまして、質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p> |
| (委員) | <p>評価とは直接関係しませんが、地域で集まって話をしていると、地域包括支援センターの認知度が低いように感じます。市の広報紙では毎月工夫して地域包括支援センターのことを周知していると思いますが、高齢者のことで何かあったら地域包括支援センターへと市民が思うように、引き続いて周知は必要だと感じます。</p> |
| (議長) | <p>他に質問、御意見はありませんか。 (他に質問等なし)</p> |
| | <p>ではつづきまして、「平成28年度運営計画」について、事務局の説明を求めます。</p> |
| | <p>(事務局説明 議題(3)平成28年度運営計画について 別紙 介護予防事業の評価について)</p> |
| (議長) | <p>ただいまの介護予防事業の評価の説明について、これまで介護予防事業担当者とともに分析してきましたので補足説明をいたします。</p> <p>平成28年度より、基本チェックリストの全戸配布・回収が終了となりました。そこで、リスクの高い高齢者への対処に、チェックリストの項目を有効活用したり、市の高齢者全体に介護予防活動を展開するために、これまで市町に集積した介護予防に関するデータを分析し、根拠を基にした事業を実施してはどうかという話になりました。</p> <p>基本チェックリスト導入時の国の目的は、要介護者になる可能性のあるリスクを抱える対象者を抽出し、介護予防事業を実施することで要介護者を減らすことでした。ところが、収集したデータの十分な検証を終えないまま、基本チェックリストの全戸配布を必ずしも行う必要がなくなりました。</p> <p>平成27年度までは一次予防事業、二次予防事業として実施していた事業が、平成28年度からは一般介護予防事業になります。基本チェックリ</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>スト全戸配布が無くなり、介護予防が必要な対象者に効果的施策を展開できない状態で、1つの事業となるのでは介護予防事業の効果が薄まってしまふように感じたため、これまでのデータを分析し、さぬき市の状況をつかむことで平成28年度以降の介護予防事業を考えていこうという流れになりました。</p> <p>別紙のスライド5にもあるように、リスクを抱える対象者の状態は時間の経過とともに変化します。経時的変化を考えると、分析結果に基づいた事業展開が大切だということになりました。そして、今後の介護予防教室のあり方として、切れ目のない介護予防、セルフケア能力の育成を目指した事業を展開していくことになりました。</p> <p>介護予防事業の評価についての補足説明は以上です。</p> <p>ただいまの(3)平成28年度運営計画の説明と、別紙の介護予防事業の評価について質問、御意見がありましたらお願いいたします。</p> |
| (委員) (事務局) | <p>今後の介護予防事業の評価の活用方法について教えてください。</p> <p>データに基づいてそのまま使用できればいいのですが、平成28年度からチェックリストの全戸配布がなくなりますので、これを機会に介護予防の取り組み方を再度検討しているところです。今まで、教室参加中の方には、3ヶ月6ヶ月9ヶ月目に担当が各自の介護予防の取組に対する評価を行い、卒業後は、自分で家庭での介護予防の取組を継続していただくことにしていましたが、教室利用中は継続できていたことが家庭では習慣化できず、能力が下がるという弊害もあるようです。それを踏まえて、来年度にむけて、他の介護予防サービスも活用し、担当が3ヶ月ごとに利用者の評価を行う、利用期間を区切らない、継続的に参加出来る介護予防の仕組み作りを検討しています。</p> |
| (委員) (事務局) | <p>貴重な資料をどのように活かすか、もう少し考えてほしいと思います。高齢者に対して資料をもとに現状を提示して、こうだからこうだと分析結果をもとに説明するなど、様々な事業の中で活かしていけば介護予防に繋がると思います。総論的でなく、もう少し具体的に教えてください。</p> <p>詳細な部分については、来年度に向けて内部で調整しているところです。希望者や、ある段階の人を継続して3ヶ月ごとにチェックをし、その人の段階に応じたコースを作って、それを希望する方にサービスとして繋ぐという内容を検討しています。具体的な内容については検討中であり、次回の運営協議会では、方向性や細かい部分をご報告できると思います。切れ目のない介護予防を、希望している方に提供できる形を目指しています。</p> |
| (議長) | <p>先ほどの委員からの質問について少し補足します。資料の活用方法について、分析結果を運営協議会で報告するだけでは勿体無いのではないかと、</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>市民に還元すべきではないかということだと思います。これについては、広報紙に市民にわかりやすいように掲載したり、他の事業の際に、分析結果を参加者に伝えて、その人なりに出来る介護予防にむけた取り組みをしてもらってはどうかと地域包括支援センター職員の方と話をしているところです。将来的なことも含めて、さぬき市は健康、医療、介護の様々なデータが利用可能な市となっているので、今回の分析結果だけではなく、もう少しいろいろなデータも含めてデータ分析が出来る部分は分析していければ、より根拠に基づいた様々な対策が出来るのではないかと考えているところです。</p> |
| (委 員) | <p>51ページからの介護予防・日常生活支援総合事業についてですが、予防給付のサービスが地域支援事業に移行していく中で、細かくサービスの種類があり、経費も実施体制も必要だと思います。しかし、単に事業を推進するだけではなく、生きた地域支援事業にしてもらいたいです。そのため、実施した事業の結果の分析や、それに基づく資料作りを行い、この事業を実施した結果、これだけ成果があるということを費用に対する効果として、数字で市民に示してもらいたいです。そうすれば、個々の介護予防のための取組が、介護予防に繋がっていくということが市民に伝わると思います。</p> |
| (委 員) | <p>今年度は介護予防を中心、次は認知症のように各年度で実施する事業の軸をある程度絞ってほしいです。そうしないと、実施事業の幅が多岐にわたり、分かりづらくなるのではないのでしょうか。継続して介護予防を行うには、人の力を借りて一緒に行わなければ1人では続きません。お達者教室を卒業して家庭に帰るとそのあとが困ります。お達者教室は、一旦卒業すると通えなくなるという話を知人から聞きましたが、今後はどうなっていくのでしょうか。</p> |
| (事務局) | <p>お達者教室の利用期間は、9ヶ月間となっています。卒業後は、長寿障害福祉課が実施する生きがいデイサービスに参加していただくほかは、介護予防中心の切れ目のないサービスに参加していただくことを検討しています。</p> |
| (委 員) | <p>介護予防事業の評価についてですが、以前、さぬき市の新人保健師よりさぬき市の課題についての分析の結果、口腔、特に歯のケアが重要であるという情報をいただきました。これは、事務局より説明のあった介護予防事業の評価と同じ内容であると感じました。ぜひ、大川歯科医師会と連携して、歯に対する取組を充実して頂きたいと思います。歯のケアを行うことが、肺炎や生活習慣病の予防になり、生きがいにも繋がります。介護予防に口腔への取り組みが重要であることがわかっていますので、国保健康</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>課や長寿障害福祉課とも連携して、力を入れて取り組んでほしいと思います。</p> |
| (委員) | <p>54ページ(4)一般介護予防事業評価事業に年度ごとに事業評価を実施するとありますが、どのように実施し活用していくのですか。また、評価は公表してもらえますか。</p> |
| (事務局) | <p>一般介護予防事業については今年度開始の事業ですので、評価を実施してみて少しずつ修正していく予定です。評価の視点についても、検討中の段階です。また、評価の公表については、内容によって公表できるデータも異なりますので、一般市民にむけて専門的評価を公表するのは難しいですが、運営協議会では、分析結果を基にした専門的評価をご報告させていただきたいと考えています。</p> |
| (議長) | <p>他に平成28年度の事業計画について御意見、ご質問等ございませんか。 (他に質問等なし)</p> |
| | <p>それでは、以上で議事の進行を終えさせていただきます。この後の進行は、事務局のほうでお願いします。</p> |
| (事務局) | <p>御協議ありがとうございました。</p> <p>次回の会議は、来年2月ごろの開催を予定しています。また、日程等が決まりましたら御案内をいたしますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、本日公布しております資料の中で、「権利擁護に関する事例」につきましては、回収させていただきますので、御協力をお願いします。</p> <p>これをもちまして、平成28年度第1回さぬき市地域包括支援センター運営協議会を閉会します。</p> |